

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス Lino			
○保護者評価実施期間	R7年7月1日		～	R7年8月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35人	(回答者数)	22人
○従業者評価実施期間	R7年7月1日		～	R7年7月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年8月25日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的な外遊びと静と動のメリハリ。 季節行事の取り入れ。	・毎日、近くの公園に行って身体を動かす時間を作っている。 また、夏は公園に行けないうちにプールを毎日行っている。 ・身体を動かしてから、机上学習を毎日行っている。	・公園遊びでのルールを分かりやすく伝え、帰る際はタイムマーを掛けて伝えている。また、公園遊びはマンネリ化しないよう近くの公園をローテーションしていたりする。 ・プールに入る際も準備運動をしてから入り、プールのルールはプール中見える場所に貼っている。
2	LINEを活用して。保護者様へのお子様の様子を写真や動画をお送ってお伝えをしたり、SNSを通して施設の様子を細かくお伝えする工夫をしている。	活動への取り組みの様子、療育内容の掲載をし情報発信と。親子でのコミュニケーションのきっかけになるように継続していく。	保護者様へのお子様へ様子を伝える際の工夫や心掛けは職員間で共有し、より分かりやすくお伝えし安心して通所して頂ける施設にしていく。
3	毎日違う療育を用意し、固定利用の児童さんが同じ療育内容に環境を設定していたり、好きな活動のみ利用が出来るようにしている。	感覚・製作・運動・SSTをローテーションするのではなく、固定用の子が毎週いろいろな取り組みできるように利用予定を工夫している。また、好きな事や苦手の事のみ参加も可能なのでお子様の伸ばして行きたいところを伸ばせるようにしている。	子ども達の五感を刺激できるような療育をしていきたい。また、五感を刺激する際にアレルギー等の対応も引き続き行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	毎日の業務連絡や療育、児童についての共有を行うために必要な時間が少ない。	朝からの利用の児童さんがいるので朝の朝礼で話す事は出来るが時間が取れても10分ほどであったり、個人業務や終業準備もあるため、出勤職員で集まる時間の確保が難しい。	掃除や最終送迎の時間を調節する。
2	地域交流の少なさ	地域でのイベントを知らない。	事業所周辺で行われているイベントを探して参加をしていくことで、地域交流を深めていく。
3			

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
Lino		2025年8月27日				35人		22人	
	チェック項目	はい	どちらでもない いえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	90.8%			9.1%	はじめは狭いと感じていましたが、広いと走り回ったり落ち着かない為丁度良いと思います。楽しく運動遊び、おもちゃ遊びなどできています。			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	72.2%	13.6%		13.6%	子どもが保育園より先生が話を聞いてくれると言っていました 平均の人数がわからないが、適切だと思う。	今以上に、保護者の方やお子様に安心して過ごしていただけるよう、配置を考えてまいります。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	90.9%	4.5%		4.5%	目印や、先生が本人にきちんと説明してくれている。 理解力が低い娘でも参加できている。	絵カードによる視覚支援やベビーサークル等の活用を行ってまいります。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	95.5%			4.5%	いつも清潔だと思います。 楽しいと言っているため、心地よく過ごせていると思います。	気持ちよく来所、降所していただけるよう、定期的なおもちゃの消毒や、お片付けの促しを行ってまいります。		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	77.3%	18.2%		4.5%	不安定な時は特別メニューで対応してくれる。 一人ひとりに合わせて対応してくれる。 ゆっくり話しかけてくれる。			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	95.5%	4.5%			いつもきちんと書類を見せていただいている			
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%				新しい目標などを一緒に子どもの様子を見ながら話を進めてくれる。 モニタリングをしううえで、細かく作成してくれる。			
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%				子どもに応じての対応や保護者への配慮もいただいている。			
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	95.5%			4.5%				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	90.9%			9.1%	毎回いろんな方法でみてもらっている。 室内、戸外活動や食育に様々な活動を行ってくれる。			
保護者への説明等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	54.5%	13.6%	9.1%	22.7%	交流先との兼ね合いはあると思うが、そのような機会があれば嬉しい。	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や地域との交流について今後検討していきます。		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	90.9%	9.1%			事前に書類を見ながら、伝えてくれた。			
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	95.5%			4.5%	いつも伝えてくれる。			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	59.1%	13.6%	13.6%	13.6%	目標を決める際に助言や方法を教えてくれる。 夏祭りなどの保護者参加イベントがある。			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	95.5%			4.5%	話し合いいただければすぐ連絡ができる。 いつも丁寧な対応をしてくれる。 連絡帳だけではなく、送迎時の会話においても、非常に細かに報連相してくれる。			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	90.9%	4.5%		4.5%	日取りを聞いてもらい、時間を作ってもらっている。			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95.5%			4.5%	支援されていると思う。			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	45.5%	18.2%	27.3%	9.1%	一緒に参加が難しいので、子どもだけですが、考えてくれている。 保護者同士の交流がないため、こうした機会があれば嬉しい。	保護者様同士の交流ができる機会がなかったため、今後検討していきます。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	90.9%	4.5%	4.5%		こちらの事情でキャンセルさせてもらうこともありますが快く了承してくれる。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	90.9%	9.1%			迎えに行く様子を見せてくれる。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	68.2%	18.2%		13.6%	毎月イベントの用紙をくれる。 個別にLINEにて写真データを頂けるのでありがたい。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	77.3%		4.5%	18.2%	一度連絡帳の入れ間違いがあった。 気づけられていると思う。	お子様の持ち物の入れ間違い等が起こらないよう、努めてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	54.5%	9.1%	4.5%	31.8%	イベントとして避難訓練もされている。 マニュアルは認知している。	毎月、火災や水害等を想定とした避難訓練を行っており、内容に関しましては、イベント案内に記載させていただいております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	68.2%	27.3%		4.5%	定期的にされている。 避難訓練が定期的にある。	毎月、火災や水害等を想定とした避難訓練を行っております。また、地域の消防署の方々の交流も行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	77.3%	4.5%	4.5%	13.6%	衝動性が高い子どもですが、けがをして帰ってくる ことがない。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	81.8%	13.6%		4.5%	いつも伝達してくれるので大丈夫だと思う。 ちょっとした異変から、発熱、また、救急車を要する事態が発生した際も、非常に速やかで適切な連携してくれる。	ラインで傷のお写真と経緯、対応方法をいただき、送迎時にもお伝えいただけます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	90.9%	4.5%		4.5%	嫌だということもあるが、利用中は楽しんでいる。	お子様や保護者様が安心できるよう、今後も環境整備や連携をしております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	77.3%	13.6%	4.5%	4.5%	利用中は楽しんでいる。 先生に会うのが毎回楽しみなよう。	今後もお子様が来所して楽しめるようなイベントが開催できるよう精進してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	81.8%	9.1%		9.1%	いろんな面から考えてくれている。 イベントが多く、子どもが楽しんでいる。	

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

事業所名	Lino				公表日	20225年 8月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	50%	50%	状況に応じて、部屋を分けてスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	利用人数や状況に応じて、職員の配置をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		絵カードや目印等で視覚支援を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		定期的におもちゃの消毒を行ったり、片付けの声掛けをしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		状況に応じて、個室を活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	50%	50%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	定期的に、ミーティングを開いており、そこでの意見を業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%			
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	75%	25%		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%			

供 関係機関 や保護者との 連携	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		活動プログラムが固定化されないように、療育内容を考えたり、イベントを考えて行っている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		その日利用するこどもの状況に応じて、その都度、職員間で連携をして、集団活動、個別活動を取り入れている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		朝のミーティングで話し合い、一日の流れや留意点などを話し合っ支援を行っている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%		他の業務もあり、中々時間が確保できていないため、今後は職員間での振り返りの時間を確保できるようにしていく。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	75%	25%			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		定期的にモニタリングを行ったり、必要に応じて相談対応を行い見直しを行っている。		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	50%			
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%			
	29	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	行えていないことの方が多いので、地域の子どもの関わりを増やせるような活動を検討したい。		
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時の時間やLINEなどを活用し保護者様とのコミュニケーションを大切にしている。		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	行えていないことの方が多いので、行えるような活動を今後検討していきたい。		
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%				
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%				
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%				
	35	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%				
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%				
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、迅速かつ適切に対応しているか。	100%				
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	ブログを活用し発信している。		
	保護者への説明等						

	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		毎月の避難訓練を行っている。	
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		個別支援計画と同じ時期にアレルギーが増えているかの確認は行っている。また、服薬やアレルギーが増えた際にはお伝えをお長居している。	
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%			
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	75%	25%		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等			
○保護者評価実施期間	R7年7月1日		～	R7年8月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	6人
○従業者評価実施期間	R7年7月1日		～	R7年7月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年8月25日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的な外遊びと静と動のメリハリ。 季節行事の取り入れ。	・毎日、近くの公園に行って身体を動かす時間を作っている。 また、夏は公園に行けないうちにプールを毎日行っている。 ・身体を動かしてから、机上学習を毎日行っている。	・公園遊びでのルールを分かりやすく伝え、帰る際はタイムマーを掛けて伝えている。また、公園遊びはマンネリ化しないよう近くの公園をローテーションしていたりする。 ・プールに入る際も準備運動をしてから入り、プールのルールはプール中見える場所に貼っている。
2	LINEを活用して。保護者様へのお子様の様子を写真や動画をお送ってお伝えをしたり、SNSを通して施設の様子を細かくお伝えする工夫をしている。	活動への取り組みの様子、療育内容の掲載をし情報発信と。親子でのコミュニケーションのきっかけになるように継続していく。	保護者様へのお子様へ様子を伝える際の工夫や心掛けは職員間で共有し、より分かりやすくお伝えし安心して通所して頂ける施設にしていく。
3	毎日違う療育を用意し、固定利用の児童さんが同じ療育内容に環境を設定していたり、好きな活動のみ利用が出来るようにしている。	感覚・製作・運動・SSTをローテーションするのではなく、固定利用の子が毎週いろいろな取り組みできるように利用予定を工夫している。また、好きな事や苦手の事のみ参加も可能なのでお子様の伸ばして行きたいところを伸ばせるようにしている。	子ども達の五感を刺激できるような療育をしていきたい。また、五感を刺激する際にアレルギー等の対応も引き続き行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	毎日の業務連絡や療育、児童についての共有を行うために必要な時間が少ない。	朝からの利用の児童さんがいるので朝の朝礼で話す事は出来るが時間が取れても10分ほどであったり、個人業務や終業準備もあるため、出勤職員で集まる時間の確保が難しい。	掃除や最終送迎の時間を調節する。
2	地域交流の少なさ	地域でのイベントを知らない。	事業所周辺で行われているイベントを探して参加をしていくことで、地域交流を深めていく。
3			

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	Lino
------	------

公表日 R7年8月27日

利用児童数 8

回収数 6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	83,3%	16,7%				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	66,7%	16,7%		16,7%		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	83,3%	16,7%				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	83,3%	16,7%				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	66,7%	33,3%				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	83,3%	16,7%				
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	83,3%			16,7%		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	66,7%	16,7%		16,7%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	83,3%			16,7%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	83,3%	16,7%				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	33,3%			66,6%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	83,3%			16,7%		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	83,3%	16,7%				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16,7%	16,7%		16,7%		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	66,7%	16,7%	16,7%			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	66,7%	16,7%	16,7%			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	66,7%	33,3%				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16,7%	16,7%		66,7%		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	50%	16,7%		33,3%		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	66,7%	16,7%	16,7%			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	83,3%			16,7%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	66,6%	16,7%		16,7%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	83,3%			16,7%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	50%	16,6%		33,3%	毎月イベント案内で災害のイベントをしてくれているので平日にもしてほしいです。	毎月災害イベントは別に避難訓練は取り入れております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	83,3%			33,3%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	83,3%			16,7%	LINEで傷のお写真と経緯、対応方法を送っていただき送迎時にお伝えは頂いています。	引き続き怪我がないように対応していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	83,3%			16,7%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	66,7%	16,7%	16,7%			

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	Lino		公表日 R7年 8月 27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	75%	25%		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	75%	25%		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	75%	25%	毎日担当がプログラム前月に考えているので固定にはならない。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	75%	25%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	75%	25%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	75%			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	25%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	75%	25%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	日頃から保護者様や関係機関との連携を意識してコミュニケーションを取ることを全体が意識している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	75%	25%		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		保護者のあった伝え方はしている。 伝え方が分からない際は責任者が伝えてくれている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75%	25%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		個別支援計画の際にアレルギーが増えたり、減ったりの確認はしている。また、服薬も聞いている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		ヒヤリハットが起こった際は用紙に記入しラインでの共有と口頭での全体共有を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		研修や朝礼で困っていることや話し合いの機会は作っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%				